

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【市長公室関係】</p> <p style="text-align: right;">P 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ICTやAI, IOTの推進を踏まえ総合計画や各種計画に盛り込み早期の導入を図られたい。特に、定型・定量業務における効率化の推進を図られたい。 <p>【総務部関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東北初となる同姓パートナーシップ条例を制定されたい。そのためのパブリックコメントを実施されたい。 連携中枢拠点都市として広域市町と連携し、人事交流を促進されたい。 自治体運営は財政面や上位官庁の視点による誘導策から決定するのではなく、盛岡市の政策立案力や企画調整力を発揮することで執行されたい。そのための体制を構築していただきたい。 	<p>AIやRPAなど、ICT技術の導入により、定型・定量業務における事務の効率化が期待できることから、ICT利活用推進指針を踏まえながら、他自治体における先進事例などの情報収集を進めるとともに、効果的な導入について検討してまいります。 (総務部情報企画課)</p> <p>[市民部男女共同参画推進室で回答]</p> <p>職員の人事交流につきましては、広域首長懇談会における取組として、職員研修の相互参加を呼び掛け、実施しております。今後におきましても、職員間の相互理解と能力・資質向上のため継続実施していくとともに、人材育成を含めた定期的な情報交換を実施してまいります。 (総務部職員課)</p> <p>地方分権の進展等に伴い、自治体における自律的な経営が求められておりますことから、「人材育成基本方針」に基づき、職員の政策形成能力や職務遂行能力の向上など人材育成を推進するとともに、組織目標の着実な達成を可能とする組織力の向上を中心とした組織マネジメントの推進に努めてきたところです。 今後におきましても、職員の能力開発に努め、中核市として、施策を積極的に推進することのできる体制の構築に努めてまいります。 (市長公室企画調整課・総務部職員課)</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和２年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本大震災被災者に対する支援について支援を継続されたい。 ・ 災害が起きた場合、被害者に対する支援が速やかに行われるような体制を作っていただきたい。特に現行の被災者生活再建支援制度は持ち家の被害を基に実施されるため支援の取りこぼしを生み出している。災害以降の生活設計に支障を来さない制度に改革するよう尽力していただきたい。 ・ 職員を市外県外国外へ研修で派遣されたい。また職員コンプライアンス教育の徹底をされたい。 	<p>東日本大震災からの復興につきましては、現在もなお、市内のみなし仮設住宅で避難生活を送られている現状や、国や県においても復興に向けた取組が継続されること等を踏まえ「東日本大震災に係る盛岡市復興推進の取組方針（再生期編）」の期間を令和３年３月31日まで２年延長して取り組むことといたしました。今後におきましても、沿岸被災地の復興の実現と市内に避難した方々が安心して生活を送ることができるよう、支援を継続してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部危機管理防災課）</p> <p>〔保健福祉部地域福祉課で回答〕</p> <p>職員の派遣研修につきましては、毎年、市町村アカデミー等、県外の研修機関へ派遣するなど、職員の能力開発に努めているほか、職員の見聞を広げることを目的とし、各部署における先進地視察や岩手県市町村振興協会主催の行政調査研修、他団体の職員との交流を伴う研修などにも積極的に派遣しているところです。今後におきましても、派遣研修等を通じた人材育成を図ってまいります。</p> <p>また、職員に対するコンプライアンス教育につきましては、これまでの不祥事案を教訓に、全庁を挙げて取り組んでおり、自らの問題として捉えられるような手法の導入や、職務に対する誇り、使命感、やりがいなど、ポジティブな視点でのコンプライアンスの意識付け、また、非違行為により本人自身が失うものや周囲に与える重大な影響について改めて認識させるような研修を行っているところです。引き続き、コンプライアンスに対する職員の意識改革に取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部職員課）</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員OBを緊急時予備役として招集できる体制を構築されたい。 ・ 職員のワークライフバランスや残業を調査され適正な職務環境であるか確認をされたい。時間外労働の削減を図られたい。 ・ 地域防災計画の市民への浸透を図るとともに自主防災隊組織の結成以降の組織の育成をされたい。特に水防と土砂災害から市民の生命を守る形での周知徹底をされたい。 	<p>職員OBを緊急時予備役として招集できる体制につきましては、豊富な行政経験を有した人材の活用という観点から、災害時、緊急時の体制整備のための方策のひとつと考えられますことから、自然災害を含めた今後の市の危機管理体制の整備を図る中で研究してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部危機管理防災課）</p> <p>職員のワーク・ライフ・バランスにつきましては、公務能率の向上と併せて、年次休暇の取得促進など働きやすい職場環境を目指し、その推進に係る通知や、時間外勤務縮減に関する指針を策定し、過重労働の防止を始めとしたその趣旨の周知徹底を図るとともに、所属長による事前の時間外勤務命令の徹底と併せて、時間外労働の縮減に向けて取り組んでおります。また、平成31年4月1日から、盛岡市職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例施行規則において、災害等による、他律的又は特例的な業務を除き、時間外労働の上限を月45時間、年360時間に定めたところであり、出退勤の管理について、パソコンの使用時間との記録を抽出して勤務実態を把握の上、各所属のヒアリングを行いながら時間外勤務の適正な管理に努めております。</p> <p style="text-align: right;">（総務部職員課）</p> <p>地域防災計画につきましては、自主防災組織の結成促進と組織の育成強化にあわせて周知に努めているところでありますが、新たな防災マップを活用しながら、今後とも、出前講座等の機会を捉え、市民への浸透を図ってまいります。</p> <p>また、自主防災組織の結成以降の組織の育成につきましては、各組織において、避難誘導訓練や消火訓練、応急救護訓練、炊き出し訓練などの実践的な訓練に取り組んでいただいております。また、災害発生時には、地域における自主的な防災・減災活動を統制するなど、その組織力を生かした活動をもって、地域の安全・安心の確立に御尽力いただいているものと存じております。市といたしましては、自主防災組織の結成促進はもとより、結成以降の組織の育成が必要であると認識しておりますことから、自主防災推進員による指導、助言を積極的に行い、防災意識の更なる高揚を図るとともに、自主防災組織の自主的な活動がさらに活発に行われるよう、引き続き、消防署や消防団と連携しながら支援するとともに、近年、台風の上陸や局地的な大雨が多発しており、水害及び土砂災害の危険性が高</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性や障がい者、性的マイノリティー、外国人といったマイノリティーに配慮した避難所運営をされたい。その運営指針を地域防災リーダーや市民に伝えていただきたい。 ・ 河川管理について、災害勃発時の適切な対応が行えるよう国・県との情報交換を密接に行っていただきたい。 ・ 南青山町に新設される予定の災害公営住宅に関しては、地域住民との話し合いを充分に行い、地域に暖かく迎えられるよう配慮していただきたい。 	<p>まっておりますことから、水害及び土砂災害時のとるべき行動につきましても訓練や研修を通じて市民へ周知してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部危機管理防災課・消防対策室）</p> <p>マイノリティーに配慮した避難所運営につきましては、東日本大震災をはじめさまざまな災害の経験や教訓を踏まえ、ニーズの違いなど、様々な視点への配慮が重要であると存じており、平成30年3月に策定した避難所運営マニュアルにおいては、これらの方々に配慮した対応を行うこととしております。今後におきましては、当該マニュアルが実際の避難所運営に反映されるよう、総合防災訓練などを通じて、地域防災リーダーをはじめ市民の方々に周知を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部危機管理防災課）</p> <p>災害時の河川に係る対応につきましては、これまでも、北上川上流大規模氾濫減災協議会や岩手県水防協議会等において、気象台等関係機関も交えて国及び県と情報交換を行ってきたものであり、今後におきましても、災害時に迅速かつ正確な避難情報の発信など適切な対応をとれるよう、密接な情報交換を行ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部危機管理防災課）</p> <p>南青山町に建設される災害公営住宅につきましては、これまで、地域住民の意見が住宅建設や地域のまちづくりに反映されるよう県や復興支援センターと連携しながら取り組んでまいりました。今後におきましても、他の地域におけるコミュニティづくりのノウハウを生かし、地域住民と意見交換を行いながら、入居者との交流を育む機会を持つなど、双方の不安解消に努め、良好な関係づくりに向けた支援を行ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部危機管理防災課）</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員採用では、障がい者法定雇用を維持するようにされたい。 ・ 会計年度任用職員については、継続雇用される非常勤職員の生活に支障をもたらす様な給与設定を行わないこと。 ・ 市役所の建て替えについて、場所や合併協定書を含め、市民アンケートも実施して頂きたい。早期に構想を明らかにされたい。 ・ 条例を制定するだけでなく、条例の廃止や時代にあった条項の変更も行われたい。 	<p>障がい者の法定雇用率につきましては、平成29年度から、これまでの身体障がい者に加え、知的及び精神障がい者も対象とした特別枠の採用試験や、「障がい者の非常勤職員名簿登録制度」を活用した非常勤職員の採用により、必要人員は充足しているところですが、市を始めとした公的機関は、障がい者の方々の雇用の促進について民間事業主に対し率先垂範すべき立場にありますことから、特別枠の採用試験のほか、非常勤職員の名簿登録制度を会計年度任用職員制度に移行後も継続するなど、引き続き、障がい者の雇用の場の確保に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部職員課）</p> <p>会計年度任用職員の給与については、これまでの年収水準を維持するよう設定したところですが、現在雇用されている非常勤職員が継続して会計年度任用職員として雇用された場合には、時限的な経過措置として、これまで受けていた報酬月額の水準で毎月受給できるよう設定いたします。</p> <p style="text-align: right;">（総務部職員課）</p> <p>現庁舎は、分散化や来庁者の利便性のほか、防災機能の面でも課題があるものと考えており、加えて、東北の拠点都市としての都市機能の充実強化の面でも、市役所の建て替えについては、重要な課題として本格的に考えなければならない時期に来ているものと考えております。</p> <p>建設規模や場所及び整備手法はもとより、将来の人口構造の変化やA I技術の進展などの社会情勢を考慮し、市民の御意見も伺いながら、適切な時期に構想を明確化できるよう、スケジュール策定に向けて、鋭意取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部管財課）</p> <p>条例の廃止や条項の変更につきましては、法令として一定の規律性を保ちながら、関係法令の改正や施策の方向を考慮し、検討を加え、必要な改正や廃止を行っております。今後とも必要に応じて所要の措置を講じてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部総務課）</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 未利用市有財産の処分や活用を促進されたい。旧消防署跡地を貸駐車場にするなど当面の利用もされたい。 <p>□ 自治体クラウドにおける行程や方針を早期に示されたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報公開を更に進める観点からも、書類の電子化の促進をされたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 賃金条項を設けた公契約条例を制定されたい。 	<p>盛岡市総合計画の実施計画において、平成27年度から31年度までの5カ年の活用目標額を18億7千万円と定め、未利用市有地の処分・貸付等の有効活用に取り組んでおります。消防署跡地については、ご要望があれば駐車場として貸しているところですが、今後も未利用市有財産の効率的な利用を促進するとともに、新たな利活用の方法について研究してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部管財課）</p> <p>自治体クラウドの導入については、情報システムの運用コストの圧縮の観点から有効であるとして、国において全国の自治体クラウドの先進事例等を分析し、その成果を活用して取組を加速することとしております。一方、自治体クラウドによるシステムの広域化・共同化については、自治体間で異なるシステム・費用の調整等の詳細な検討が必要であることから、現有システムの更新時期等を考慮しつつ、ICT利活用推進指針を踏まえながら、クラウド化についての情報収集や、他自治体との意見交換を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部情報企画課）</p> <p>本市における書類の電子化については、現在、職員の作成する多くの書類が電子化されており、電子データでの提供が可能な書類については、市公式ホームページによる各種情報の公表のほか、市民や企業等が公共データを利活用できるようオープンデータによる情報の公開・利活用の推進に努めているところであります。</p> <p>一方、電子化されている書類の中で、予算書や決算書など、ホームページ等での公開に対応した様式となっていないものや、不開示情報が含まれた書類があるなど、公開にあたっては、課題もあるところです。</p> <p>今後におきましては、ICT利活用推進指針を踏まえながら、電子データでの公開に対応した各種様式の見直しや不開示情報を含む書類の取扱いなど、情報公開を進める観点から検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部総務課・総務部情報企画課）</p> <p>〔財政部契約検査課にて回答〕</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【財政部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 3</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度や委託の検証をされたい。具体的には、収支報告・活動報告について混乱を引き起こさないよう、年度初めから適切な指導をされたい。各担当課によって指導や書類記載の内容が著しく異なることの無いよう、基礎的部分においては、盛岡市共通のひな形とされ、従業員の労働条件が劣悪なものにならないよう指導されたい。また、複数年にわたり指定管理や委託事業を受託している場合賃上げや労働条件が向上するよう指導されたい。デフレからの脱却の観点で指定管理費や委託費を上げていただきたい。 	<p>指定管理者制度や業務委託においては、あらかじめ定めた仕様や協定・契約に基づき公共サービスが適切に提供されているかについて、定期的に履行内容を確認しております。</p> <p>また、指定管理者制度においては、このような確認に加え、公正かつ客観的視点から第三者による評価の実施や、統一的な視点による業務の履行状況確認（モニタリング）を採り入れることにより、市民及び利用者に対するサービスの向上に努めております。</p> <p>指定管理者制度における各種報告については、市と指定管理者とで締結する基本協定書に基づき、業務の実施状況、利用状況、経理の状況等を記載した事業報告書等の提出をお願いしております。</p> <p>業務委託については、個別の委託業務の性質、内容等が多岐にわたっていることから、市としての統一した報告様式は定めておりませんが、仕様書及び業務委託契約書に基づき受託者から成果品や報告書等を提出いただいているところです。</p> <p>労働条件につきましては、当該受託者が実情に応じて定めるものと存じますが、当該受託事業の適切な実施の観点から、適正な労働環境の確保に向け、意識の啓発に努めており、指定管理者制度においては、指定管理者選定の際の審査項目に「適正な労働条件の確保」を設けるとともに、賃金や労働時間などの労働条件について定期的に調査を行うなど、その把握に努めているほか、指定管理者と所管課を対象とした連絡会議を開催し、関係機関の協力を得て、労働条件等に関する研修を行うなど、意識の向上を図っております。</p> <p>また、指定管理料や委託料については、指定管理や業務委託が適正に実施されるように、仕様書などに基づき物価上昇や賃上げ等も鑑みて算出しているところであり、指定管理料の上限額算定に当たっても、物価上昇や賃上げ等に対し、指定管理者による柔軟な運営が可能となるよう、用途の定めのない「一般管理費」を計上するなど、新たな算定基準による運営についても見直しを行っております。</p> <p>この一般管理費により、人件費の改善などの実績を積み上げていただいたものを、指定管理者更新手続きの際の上限額算定に適切に反映させることで、労働環境の改善に努めてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（総務部職員課・財政部資産経営課）</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和２年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【都市整備部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩山公園整備について総合的な岩山地区活性化計画を推進して頂きたい。道路整備や旧漆芸美術館の活用を促進されたい。また盛岡動物公園については計画の進行状況等を出来るだけ細目に市民に提供していただきたい。 	<p>岩山公園につきましては、令和元年度に策定した「岩山エリア公民連携事業基本計画」に基づき、リードプロジェクトである盛岡市動物公園の再生事業を推進し、岩山エリア全体として活性化を目指してまいります。</p> <p>アクセス道路となる市道岩山２号線につきましては、平成２２年度から道路改良事業に着手しており、歩道が未整備である新庄浄水場付近から旧漆芸美術館方向の約７５０ｍ区間を事業区間として、平成２９年度までに新庄浄水場付近から市道つつじが丘団地線までの約１８０ｍが完成しており、残り約５７０ｍ区間につきましては、早期に事業効果を発現できるよう予算の確保に努め、令和４年度の完成を目指して事業を進めてまいります。</p> <p>また、盛岡市動物公園につきましては、公民連携事業により民間ノウハウを活用することで財政負担軽減を図りつつ、市民が誇りに思える動物公園を創造することを目的とし株式会社もりおかパークマネジメントが市の代理人として、盛岡市動物公園再生事業計画を具体化していくこととしており、今後、具体の設計や計画に一定の進捗がみられるごとに、随時、市民や議会に情報提供してまいります。</p> <p>旧漆芸美術館の活用につきましても、岩山エリアの活性化に向けた取組の一環として検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（都市整備部公園みどり課・建設部道路建設課・総務部管財課）</p>